

P8310781.JPG 2019/03/07

慶応四年八月朔日(一日)より慶応四年八月七日まで

P8310781right

朔日巳 雨終日

須崎伯母へ使いして小品を遣し尋問す、須崎常へ昨夕の写を返し粗品を□ふ、保三

来り小品持来、去月□六日、御受の趣愈(いよいよ)相違無し歟、御用人嘉重、丹下より本

日□調所

猶尋受し旨に付相違無し趣相認休左衛門を以、調所へ届出様申含□事託し遣す

餐を勧む

二日午 細雨午前止漸晴

太郎次郎を携へ近辺釣を試む、休左衛門来る、各長屋貸料を納む、且御書付類持来

三日未 雨終日

入夜須崎常来る、□持来、板倉屋方処置振の儀あり

P8310781left

四日申 陰午前より細雨

昨事<sup>2</sup>の謝として須崎へ□□□を遣す、松倉町より快翁三十五日法会品差越す、柳生某へ、

山縣喜<sup>2</sup>附添、当荘一見に来る、讓渡すの儀あるによる

五日酉 陰漸薄晴入夜雨到曉暴風雨

太郎を携え近辺釣を□る

六日戌 雨意漸晴

須崎常を招き酒肴を勧む、小品持来、□□を為持返す

七日亥 晴

礫姑来る、茶袱並半紙紅梅焼、其外小品持来、泊宿鱧飯等を設く、須崎伯母来る快翁

\*1:

\*2:

□印は解読未了の文字です。私の実力ではすぐ解読できません。